



くじ

市議会だより

第 39 号

2015年
(平成27年)
5月1日発行



友だちたくさんできるかな

主な内容

- 議員定数 2～3
- 市議会を読む 3月定例会 4～5
- 委員会の審査から 6～7
- 市政を問う（一般質問） 8～15
- 意見書／わたしのひとこと 16

4月5日に久慈学童保育所みつばちの家の入所式が開かれ、新たに40名の児童が仲間に加わりました。

議員定数は現状維持の24名で

久慈市議会では、適正な議員定数を調査・研究することを目的に、昨年の12月定例会において、議員定数に関する調査特別委員会（高屋敷英則委員長、議長を除く全議員で構成）を設置しました。委員会では、議員定数に関して市民の意見を広く伺ったうえで議論を重ねてきました。



中央公民館で開催された「市民の声を聴く会」

市民からの貴重な意見

1月26日から募集したパブリックコメントでは、延べ17件のご意見をいただきました。また、1月下旬に開催した議会報告会においても、議員定数に関する多くのご意見をいただきました。

さらに、2月22日に開催した「市民の声を聴く会」では、5名の方から定数の削減、維持、増員についての意見を発表していただき、財政的な見地から議員定数の削減を求める意見、民意の反映のために定数の維持を求める意見、議員報酬の削減を前提とした増員の意見など、貴重なご意見をいただきました。委員会は8回にわたって開催され、その中においては、「議会への若者や女性議員の参加の必要性について」、「役

久慈市議会では議員定数の調査を行い、現状の定数24名が適正であるとの結論を出しました。これにより、今年7月26日に投票が行われることが確定しました。議会議員選挙は定数24名で行われることが確定しました。

務の対価として支給される議員報酬について、「生活側の側面からの検討・議論の必要性について」、「分権社会における地方自治及び市民参加のあり方について」、「少数精鋭主義及び面積割りを考慮した選挙制度のあり方について」など、活発な議論が交わされました。

また、現状を真摯に反省しながら、将来に向けての重要な課題として捉え、さらなる議会改革の推進を図るべきとの提言もなされたところです。

定数削減案は否決

委員会では、議員による議論と市民からの声を十分に参酌しながら、最終的に、「定数削減」と「定数現状維持」の2つの意見に集約したうえで定数削減の賛否について採決した結果、賛成者5名の賛成少数により、定数削減案は

否決されました。

これにより委員会では、7月26日投票の久慈市議会議員選挙は、現状の議員定数24名で実施するべきとの結論に達し、調査を終了すべきものと決定しました。

最終本会議で現状維持が確定

3月20日に開催された最終本会議において、高屋敷委員長より議員定数は24名にすべきとの調査結果が出され、委員会を終結すべきと報告されました。採決の結果、賛成17名、反対6名の賛成多数で可決されました。

また同日、議員定数を24名から20名に改正しようとする、「久慈市議会議員定数条例の一部を改正する条例」も発議されましたが、賛成6名、反対16名の賛成少数で否決されました。

議員の意見

定数維持

▼議会基本条例が制定され、4月からは通年会期方式も実施される。これらを確立し、今、問題となっている女性議員や若手議員を増やしていくことが次期任期の使命と考えることから、今は削減するべき時ではない。

▼常任委員会の構成人数などまだまだ検証が必要な部分が多い。

定数削減については、もっと長いスパンで検討すべきで

ある。

▼現在、議会改革の道半ばであり、今後の4年間を活性化に向け活動した上で、市民に評価してもらうべきと考える。

▼議員には住民の声を市政に反映させる責務がある。職業、年齢、地域などあらゆる階層から選出されるのが望ましい。定数削減によって民意の反映がおろそかになる恐れがある。

▼定数を削減するのであれば、報酬もあわせて議論すべき。4年ごとに定数を減らすのではなく、将来を見据えて議論を重ねていくべきである。

▼議員数を減らしたことにより、執行機関へのチェック機能を果たせるかが問題である。また、常任委員会の構成人数が減り、審査が不十分になる懸念もある。

この点の議論を深めない限り、定数を削減する状況にはならない。

▼新自由主義の路線にストップをかける意味からも、地方議会が定数削減の方向ではなく、本当の意味での政治に切り替えることが必要と考える。

▼今後、市町村は総合戦略を立て、国に対し提出することとなる。議会は限られた人数でチェック機能を最大限に発

揮し、よりよいものを国に提出する必要があるため、定数維持が妥当と考える。

定数削減

▼県内の同規模の議会でも定数の削減を行っている。効率的な議会運営により定数削減は可能である。また、パブリックコメントでは、6割以上の市民が削減を望んでいる。

▼これまで、様々な場所で市民の意見を聴いてきたが、定数を削減すべきとの声が多いのは事実である。その声を踏まえ、市民と同じ行動をしていかなければならない。

市民の皆様からのご意見

「市民の声を聴く会」やパブリックコメントで皆様からお寄せいただいたご意見の一部を紹介します。

定数維持

- 全国的に定数削減の風潮にあるが、「民意の反映」を最重要視した議員定数とすべき。
- 人口希薄地域からの議員が誕生し難くなることへの配慮が必要。
- 議会は執行機関の施策をチェックすることが大切である。よって、現行の議員定数を維持することが必要。
- 定数は現状のままでよいと考えるが、女性議員がない点と若い立候補者がいないのは問題である。
- 現在取り組んでいる議会改革の試みを軌道に乗せ、市民と議会との距離を一層縮めるためにも、今、削減しては片手落ちとなる。
- 市民の利益のため現行の議員定数を維持し、さらなる議会の活性化、緊張感のある議会を期待する。

定数削減

- 市の人口も減少していくので、財政面を考えると議員定数・報酬を減らすべき。
- 定数が減ると住民の意見が反映されにくいというが、これまでは出身地域だけの意見を聞いてきたので反映されにくかったと思う。市全体の意見を聞く方法に変えれば、定数が減ってもよいのではないか。
- 他の自治体の議員定数を見れば、久慈市も削減の方向に向かわなければならない。
- 欠席議員がいても議会が成り立つのであれば、削減も可能。
- 宮古市や二戸市も削減の方向である。久慈市も思い切った決断を期待する。
- 住みよい街づくりは議員数ではなく、市政への情熱と市民への愛情のある議員の選出と考える。

定数増員

- 議員を増員してもっと市民の声を市政に届けるべき。
- ぬるま湯に浸かっている議員を監視するためにも、増員して切磋琢磨しなければ議会もよくなる。
- 議員を増員する場合は、市民に負担をかけないよう、平均所得以下に収めることを条件にすべき。

議員定数に関する賛否一覧

議席番号 議員名	審議結果	賛対		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
		賛	対	梶谷武由	下川原光昭	藤島文男	上山昭彦	泉川博明	木ノ下祐吉	畑中勇治	砂川利男	山口健一	山田鉄男	桑田富雄	澤里浩志	中平正人	小柳正人	堀崎松男	小倉建一	小野寺勝也	城仲悦二	下館祥悦	中塚佳男	八重樫友夫	高屋敷英則	宮澤憲司	大沢俊宏	濱欠明光
次期選挙における議員定数の削減について(特別委員会)	賛成少数	5	13	●	○	欠	●	●	●	○	欠	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員定数に関する調査特別委員会の終結(委員長報告)	賛成多数	17	6	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
久慈市議会議員定数条例の一部を改正する条例(24→20名)	賛成少数	6	16	○	○	早	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 早は早退 -は採決に加わりません

平成27年度一般会計予算を可決

人口減少対策など新たな施策を盛り込む

第22回市議会3月定例会は、2月27日から3月20日までの22日間の会期で開かれました。本定例会では、遠藤謙一市長が施政方針を、加藤春男教育長が教育行政方針を述べ、当初予算は予算特別委員会を設置して審査しました。

平成27年度一般会計当初予算など46件の市長提出議案と、5件の議員発議案について審議し、久慈市議会議員定数条例の一部を改正する条例を除く、すべての議案を可決しました。一般質問では各会派を代表して5人が、個人で2人の議員が登壇して質問を行いました。

当初予算

平成27年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の当初予算9件は、原案のとおり可決しました。

主な内容については7ページの「委員会の審査から」をご覧ください。

補正予算

一般会計など、各特別会計及び水道事業会計など10件の

当初予算

平成27年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の当初予算9件は、原案のとおり可決しました。

既定の予算額から、歳入歳出それぞれ3億5258万8千円を減額し、総額274億2559万円とするものです。

主な補正の内容は次のとおりです。

- ・在宅介護環境整備事業費補助金
- ・新分野事業を始めようとする

補正予算

補正予算は、すべて原案のとおり可決しました。

事業所への開設準備経費への補助 200万円

・木質バイオマスエネルギー活用施設等空調実証事業費補助金

特用林産物生産施設において実施する実証試験費用の補助 800万円

条例等

条例の制定などの議案20件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。



議場の工事のため3月定例会は市役所大会議室で行われました

●保育所条例の一部を改正する等の条例
公立保育所の利用者負担額等を定めるものです。

●海女センター条例の一部を改正する条例
海産物等の提供を行えるようにし、加えて、開館期間を延長するものです。

その他の議案等は「議案等審議結果」及び6ページの「委員

員会の審査から」をご覧ください。

人事

●教育委員会委員に成田不美氏（小久慈町）、宇部京子氏（宇部町）を任命することに同意しました。

●固定資産評価審査委員会委員に角一志氏（山形町）、畑中勇次郎氏（川崎町）、外里

文人氏（巽町）を選任することに同意しました。

●人権擁護委員候補者に小上眞理子氏（小久慈町）、高屋敷眞喜子氏（夏井町）を推薦することに異議がない意見を付しました。

議員発議

●政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

議員一人あたり月額5千円の交付額を1万円に改正するものです。

●「TPP交渉から久慈地域の農林水産物を守る」緊急決議について

国民的議論の徹底、国会決議の遵守を強く求めるものです。

議案等審議結果

第22回市議会3月定例会

【当初予算】

- 平成27年度久慈市一般会計予算
- 平成27年度久慈市土地取得事業特別会計予算
- 平成27年度久慈市国民健康保険特別会計予算
- 平成27年度久慈市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成27年度久慈市介護サービス事業特別会計予算
- 平成27年度久慈市魚市場事業特別会計予算
- 平成27年度久慈市漁業集落排水事業特別会計予算
- 平成27年度久慈市公共下水道事業特別会計予算
- 平成27年度久慈市水道事業会計予算

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝賛成多数
原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

【補正予算】

- 平成26年度久慈市一般会計補正予算（第6号）
- 平成26年度久慈市土地取得事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成26年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成26年度久慈市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 平成26年度久慈市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成26年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成26年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成26年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成26年度久慈市一般会計補正予算（第7号）
- 平成27年度久慈市一般会計補正予算（第1号）

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

【条例等】

- 教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例
- 部設置条例の一部を改正する条例
- 行政手続条例の一部を改正する条例
- 職員表彰条例等の一部を改正する条例
- 保育所条例の一部を改正する等の条例
- 看護師養成奨学金貸付条例
- 海女センター条例の一部を改正する条例
- 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
- 特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- 下水道条例の一部を改正する条例
- 久慈市超高速ブロードバンド基盤整備工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることについて
- 小袖漁港海岸災害復旧（23災第74号水門）ほか工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 洋野町道の路線を久慈市の区域内に認定することの承諾に関し議決を求めることについて（2件）
- 市道路線の認定に関し議決を求めることについて（2件）
- 和解に関し議決を求めることについて
- 過疎地域とみなされる区域に係る久慈市過疎地域自立促進計画の一部変更に関し議決を求めることについて
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

【人事】

- 教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて（2件）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて（3件）
- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて（2件）

同意＝全会一致
同意＝全会一致
異議がない意見＝全会一致

【請願】

- 被災者生活再建支援制度の拡充についての請願
- 久慈市長内町元木沢地区に計画される三陸沿岸道路「野田久慈道路」の「工法の見直しを求める」請願

採択＝全会一致
継続審査＝全会一致

【議員発議】

- 被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書の提出について
- 政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
- 久慈市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 「TPP交渉から久慈地域の農林水産物を守る」緊急決議について
- 久慈市議会議員定数条例の一部を改正する条例

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
否決＝賛成少数

3月定例会賛否一覧

※これ以外の案件等は 全会一致で可決等されています。

議案等名	審議結果	賛成	反対	議員番号																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
平成27年度久慈市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度久慈市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ ○は賛成 ●は反対 ※ 議長（八重櫻友夫）は採決に加わりません

委員会の審査から

総務、教育民生、産業建設の各常任委員会を
3月13日に、予算特別委員会を3月16～18日に
開き審査しました。

総務

総務委員会に付託された議案5件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介いたします。

●部設置条例の一部を改正する条例

行政組織のスリム化を図るため、市民生活部と健康福祉部を統合し、生活福祉部に改め、また、農林水産部と産業振興部を統合し、産業経済部に改めるものです。

【質問】組織の見直しの検討経過は。

【答弁】市長公約である組織のスリム化について、各部各課からの意見を集め、調整案を作成し、庁議等で協議を行った。

【質問】各部等から出された意見はどのようなものか。

【答弁】今回、統合しようとする部に関する意見のほか、契約担当部門の充実や、上下水道部門の統合など、様々な

意見が出された。

そのほか、統合に伴う執務室の移動や、グループ制から係制に変更する考え方などについての議論が交わされ、採決の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。



組織のスリム化を図る久慈市役所

教育民生

教育民生委員会に付託された議案2件、請願1件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介いたします。

●看護師養成奨学金貸付条例

例 将来、市内医療施設におい

て看護師の業務に従事しようとする者に対し、看護師養成奨学金の貸付けを行うことにより、看護学校等への修学を容易にし、市内医療施設における円滑な看護師の確保を図ることを目的に制定するものです。

【質問】貸付け希望者が多数になった場合の選考方法は。

【答弁】学業成績はもちろんのこと、看護師として地元貢献したいという本人の熱意を面接で確認し選考したい。

【質問】学業成績が著しく不良と認められるときは、貸付けを廃止するところがあるが、その基準は。

【答弁】学業成績書や健康診断書等の提出を求め、それらを元に判断する。

そのほか、県内の自治体での条例制定状況や、看護師不足の要因をどのように把握しているかなどについての議論が交わされ、採決の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

産業建設

産業建設委員会に付託された議案10件、請願1件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介いたします。

●久慈市長内町元木沢地区に計画される三陸沿岸道路「野田久慈道路」の「工法見直しを求める」請願

東日本大震災の復興事業である三陸沿岸道路・野田久慈道路整備にあたって、市内長内町元木沢地区に計画される「盛土式」による整備工法について、コミュニティを崩壊させ、市街地の利便性の低下を招き、国道45号への交通アクセスを大幅に変化させることから、国に対し、「盛土式」から「高架式」への見直しを求めるよう意見書の提出を求めたものです。

【質問】請願に至った背景は。

【説明】盛土式による経済的メリット等よりも、地域間交流の風通しを良くしたいとい

うことが、高架式への工法変更を求める大きな理由である。また、事業が進んでいるにもかかわらず、周辺住民に情報提供がなされていないことに不満を感じているところであり、事業主体である国から、事業内容や設計工法など、丁寧な説明がなされることにより、事態は収拾する可能性がある。

そのほか、請願提出にあたっての町内会における住民意見集約の状況などについての質問、説明が交わされ、採決の結果、全員異議なく継続して審査すべきものと決しました。



現地調査を行う産業建設委員会

予算特別

予算特別委員会（桑田鉄男委員長、議長を除く全議員で構成）に付託された平成27年度一般会計予算、7件の特別会計予算及び水道事業会計予算について審査し、いずれも原案のとおり可決しました。



桑田予算特別委員長

●平成27年度一般会計予算

予算の総額は、234億8200万円であり、前年度当初予算と比較して5億6700万円、2.4%の減額となっています。

遠藤市長は当市の財政状況について、平成33年度までに数億円規模の減収が見込まれ、今後さらに厳しい財政運営を強いられることになる。新年度の予算編成については、限られた財源の重点的・効率的

な活用に努めるとともに、人口減少対策をキーワードとして次期総合計画を見据えた新たな施策を盛り込んだものであると述べました。

主な新規事業の内容は次のとおりです。

・地域おこし協力隊設置経費 隊員設置に係る経費 1280万円

・結婚支援推進事業補助金 民間団体が実施する結婚支援事業に対する補助 40万円

・Kターン若者雇用拡大奨励金交付事業 100万円

・ナマコ産地化推進事業費補助金 469万円

・総合運動公園整備基本構想策定事業 400万円

基本構想策定に係る経費

400万円

主な質疑

【質問】移住・定住の促進のため、移住先駆者のアイデアやノウハウを活用しては。

【答弁】移住希望者向けのお試しツアーを企画しており、既に移住されている方を講師として、移住を希望する方へアドバイスをしていただく予定である。

【質問】世帯内第3子の保育料無料化について、第3子の考え方は。また、所得制限は。

【答弁】高校卒業までの子どもが3人以上であれば、第3子以降は保育料無料となる。また、所得制限はない。

【質問】観光交流センター魅力向上事業費の減額理由は。

【答弁】現在は補助金の契約を解除し返還請求をしている段階である。今後は、対応について県と相談しながら、資料等の開示についても検討し、議会にも相談していきたい。



歩道設置予定の久慈街道踏切

【質問】総合運動公園整備構想の検討状況は。

【答弁】平成27年度に基本構想の策定をコンサルタント会社に発注することとしている。いずれ、必要な施設や規模等についてもさまざまな構想を練り、検討を重ねていきたい。

討論

賛成 小野寺勝也議員

第一に、市民との協働作業で市政を運営するという市長の姿勢は大事である。第二に、市民の切実で道理ある要望に応えようとする視点は評価できる。第三に、第3子以降の保育料無料化、雇用拡大奨励制度等の施策に着手するなど、今後の成果に期待が持てる。なお、財政を削減する場合には、無駄遣いや不要不急の解消に努めるなど、市民生活から遠い部分から行うことを要望する。

一般質問

代表質問

～市政を問う～



政和会
おおさわ しゅんこう
大沢 俊光 議員

その他の質問項目

- 合併の検証について
- いわて森のトレーについて
- 小袖海女センター・番屋の運営、利活用について
- 畜産物に係る放射能の現状について
- 施設の集約整備構想について
- 名誉市民の顕彰について

ほか

※関連する質問は14ページに掲載しています。

久慈駅前再開発での官民の振り分けは

市長一整備手法など市民との共同作業で固める



長期展望に立った再開発が望まれる久慈駅前

【質問】 久慈駅前再開発において、整備・管理運営の官民の振り分けは。

【答弁】 市直営施設、民間にお願いする施設等になると思うが、今後、市民との共同作業によって固めていくことになる。

【質問】 「歴史をまとったまち久慈」を標榜し、

久慈城、久慈の歴史を眠りから起こす活動や文献整備、三船十段生誕の地標識整備など、できる活動から始めるべきでは。

【答弁】 久慈城跡整備は、まず用地取得に取り組み、久慈地方の歴史を伝える文献収集も続ける。また、生誕の地標識整備につい

ては、いわて国体柔道競技の当市開催にあわせ、三船十段を広く内外に周知する方策を検討する。

【質問】 県営施設を久慈市に誘致し、総合運動公園整備など、県との共同事業を検討すべきでは。

【答弁】 県北沿岸地域には大規模な県営施設が設置されていない状況にある。総合運動公園整備構想では、県との共同事業の可能性について検討したい。

水田のフル活用や共同利用施設の整備等を進め、水田農業中心の地域の活性化を目指している。地域振興策については、宇部川地区営農組合など地元団体と協議を進めたい。

【質問】 旧山根小・中学校への山根支所移転や民間企業等の利活用は可能か。

【答弁】 旧山根小・中学校校舎は、地域から支所等の機能の移転や多目的施設としての活用希望を受けていることから、支所等の機能の移転を第一に考え、地域と協議中である。また、企業等の利活用については、具体的提案により地域とも協議し、有用な施設利活用となるよう進めたい。

一般質問

代表質問

～市政を問う～



新政会
いずみかわ ひろあき
泉川 博明 議員

その他の質問項目

- 市道久喜漁港線について
- 総合防災公園整備事業について
- 津波避難訓練について
- 再生可能エネルギーについて
- 人口減少対策について
- 県立久慈病院の医師確保について

ほか

※関連する質問は14ページに掲載しています。

久慈が持つ魅力を生かした地方創生を

市長―市民にも当事者となって取り組んでもらう

【質問】 地方創生法で2016年3月末までに戦略策定が求められる中、地方が持つ魅力を最大限生かした個性豊かで活力ある地域づくりに取り組むことが重要と考えるが。

【答弁】 久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョンについて、市民の皆様積極的に関与して当事者となって取り組んでいただき、来年度中に策定したい。

【質問】 三陸沿岸道路の完成を見据え、大規模な道の駅の設置を広域4市

町村で検討するようだが。

【答弁】 久慈広域行政研究会で連携協議が合意され検討を進め、東北整備局も関心を持っている。規模を大きくすることなど管内の町村長にも理解をいただき合意形成を図る。

アワビの稚貝放流数は

【質問】 震災から4年目でアワビの稚貝放流が課題だ。1年でも早く、震災前と同様の稚貝放流を県に要望すべきと考える

が、来年度の放流数は。

【答弁】 来年度放流分のアワビ稚貝は、無償配付で102万5000個の放流を計画している。また、放流を継続的に実施するための資源確保に努める。

【質問】 今年の観光客入込み予想と減少防止対策は。また北陸新幹線開業の影響は。

【答弁】 平成26年度の12月末主要8施設観光客入込数は約114万人である。「あまちゃん」の再放送を契機とした来訪を

期待しており、観光施設の情報発信等を積極的にを行い、北陸新幹線開業の影響を最小限にするよう関係機関等と連携に努める。

【質問】 ふるさと納税寄附金の制度拡充を進めて



魅力あふれるふるさと納税記念品の数々

いくとしているが、現況と今後の見通しは。

【答弁】 2月末で900件、約1000万円が記念品導入後の寄附である。今後も選択肢を充実させ久慈市を感じていただけるよう積極的に取り組む。

一般質問

代表質問

～市政を問う～



清風会
たかやしきひでのり
高屋敷英則 議員

その他の質問項目

- 県立久慈高校旧山形校の跡地利活用について
- 市民への情報不足の解消について
- 被災者の生活再建状況について
- 第2期中心市街地活性化基本計画について
- 総合防災公園整備事業について
- 道路等危険箇所の解消について

ほか

※関連する質問は15ページに掲載しています。

梅ヶ丘団地のり面崩落の復旧は

市長一民地で制度上の問題もあるが対策に努めたい



梅ヶ丘団地のり面崩落箇所の状況

【質問】 天神堂34地割37番地内、梅ヶ丘団地のり面崩落箇所の復旧について、被災者救済の観点で取り組む考えは。

【答弁】 民間により宅地開発された土地であるので、復旧に公的資金を投

入することは制度上難しい部分もあるが、市民の生命、財産を守るため国県への要望を含め引き続き努力したい。

【質問】 病児、病後児保育施設の利用促進に向けた取り組みは。

【答弁】 昨年10月に民間の医療機関による病児保育室が開設され、本年2月末まで、延べ56人、月平均10人以上の利用と伺っている。周知については、市の子育て支援情報誌等に掲載するなど事業者と連携を図り、利用促進に努めたい。

【質問】 移住・定住促進に向けた、効果的な情報発信の考えは。

【答弁】 インターネットを活用して、移住に伴う支援制度や空き家情報を発信しており、問い合わせも増えている。市での生活を具体的にイメージできるQ&Aや、移住希望者の関心度が高い情報の発信を心がけたい。

【質問】 通称「エリート

牧場」周辺の大規模風力発電計画の把握状況は。

【答弁】 県の風力発電導入構想策定事業の中で、山形町の通称「エリート牧場」周辺が適地として構想に組み込まれることとされており、事業が推進されるよう、市としても積極的に取り組みたい。

【質問】 いわて国体開催に向けて、空き缶やタバコ等のポイ捨て禁止条例を制定する考えは。

【答弁】 これまで、ごみゼロ運動や早朝清掃など、環境美化に努めてきたが依然として、空き缶やタバコ等のポイ捨てが見受けられる。今後、ポイ捨て禁止条例の制定について他市等を参考にしながら検討したい。

一般質問

代表質問

～市政を問う～



創政会
しもかわらみつあき
下川原光昭 議員

その他の質問項目

- 地方創生について
- 久慈湾内の静穏域の利活用について
- 移住者受け入れについて
- 空き家対策について
- 観光客誘客について
- 平庭高原の白樺林の保護策について

ほか

※関連する質問は15ページに掲載しています。

新作目開発のための考え方は

市長―今後とも開発実証に取り組んでいく

【質問】 新たな作目開発の考え方は。

【答弁】 当市の自然条件や土地条件に適した新作目の開発に向け、関係団体等の協力を得て、市単独事業である新作目開発実証事業に取り組んでいる。

今後とも、久慈農業改良普及センター等と連携し、開発実証に取り組んでいく。

【質問】 当市の基幹産業である農業、林業、水産業について、ブランド力や生産者所得の向上、担

い手不足の解消に向けて、市の組織を3課に分けてきめ細やかな対応をすべきと考えるが。

【答弁】 縦割りのな組織から横の連携に配慮し、農業、林業及び水産業等の地域資源の利用を、業態を超えて最大限に引き出すような組織の再編に着手した。

来年度は、現在の2課での対応を考えているが、事務事業の状況を見極めながら、必要に応じて柔軟な組織の見直しを行っていききたい。

【質問】 いまだに、久慈湊地区の津波避難所整備が見えていない状況であるが、この計画の見通しは。

【答弁】 久慈湊地区に整備した湊地区防災センターは昨年9月に完成し、12月に避難所として指定している。

今後は、同センターへの備品の配備、津波避難タワーの整備、避難道路及び避難所の充実に努めたい。



官民一体となった活性化の取り組みが必要な久慈駅前付近

【質問】 中心市街地活性化に係る意見交換会の目的は。

【答弁】 行政主導の箱物整備だけでなく、地域住

民や商店経営者等との一体的な取り組みが必要と考えることから、行政、住民及び経営者が互いに課題を提起し、議論を深めるために実施したものであり、今後も継続して取り組んでいきたい。

意見交換会の目的は

一般質問

個人質問

～市政を問う～



社会民主党
かじや たけゆき
梶谷 武由 議員

その他の質問項目

- 保育園の待機児童解消策について
- 公共施設の総合管理計画について
- 市政懇談会等で出された意見について

ほか

【質問】 現行の教育委員会制度は、教育行政の安定性や政治的中立性を確保するため、首長から独立した機関として創設され現在に至っていた。法律改正により、4月以降は教育委員長と教育長が一本化され、新教育長となり、首長が任命することとなったが、市長の見解は。また、教育は党派の影響から中立性の確保が必要だが、どのようにして確保するのか。

【答弁】 委員長と教育長の一本化により、責任体制がより明確になる。首長が招集する総合教育会議は、教育行政の大綱などの協議を行うが、教育委員会は



新しくなった久慈小学校

合議制の機関として維持され、職務権限に変更はないと認識している。

中立性の確保については、職務権限が変更されないの引き続き政治的中立性が図られると考えている。

また、市長交代を理由とした教育長の任期途中の罷免はできないものと考えている。

市長―職務権限に変更はないと認識する

教育委員会制度改正への見解は



公明党
やまくち けんいち
山口 健一 議員

その他の質問項目

- 男女共同参画社会の推進について
- 発達障害対策について
- クラブ活動への支援策について

ほか

【質問】 国ではふるさと創生の起爆剤として交付金を創設し、地域商品券などに活用できるとしている。プレミアム付商品券に対する当市の考え方は。

【答弁】 商品券の発行を計画しており、20%程度のプレミアムを想定している。対象商店等は公募を予定しているが、詳細については商工会議所と検討を進める。

【質問】 今年度からコンビニエンスストア収納システムを導入するとしているが、コンビニが無い地域では郵便局での収納も考えるべきと思うが。

【答弁】 市民サービスの向上を図るため、コンビニエンスストア収納システムの導入を、来年4月からの運用開始を目指し進



大川目町の旧火葬場跡地

めている。郵便局での収納も可能になるよう、ゆうちょ銀行と協議を行い、検討していきたい。

【質問】 大川目地区にある旧火葬場跡地を、久慈広域連合より無償で借り入れ、活用すべきと思うが。

【答弁】 市としては活用していきたいと考えているが、旧火葬場跡地は久慈広域連合の財産であり、構成町村の理解も必要となる。いずれ、地元町内会の意向をもとに協議を進めていきた

市長―20%ほどのプレミアムを想定

プレミアム付商品券の取り組みは

～市政を問う～

一般質問

代表質問



日本共産党久慈市議団
おの でらかつや
小野寺勝也 議員

その他の質問項目

- 人口減少社会への対応について
- 介護保険制度について
- 林業振興・森林整備対策について
- 中小企業振興策の策定について
- 就学援助の費目の拡大について
- 土地改良区の合併支援策について

ほか

※関連する質問は15ページに掲載しています。

地産地消推進条例の制定を

市長―制定に向け検討していく

【質問】 当市における農林水産業を再確認し、市の基幹産業として位置づけ、食料、建築資材、飼料、エネルギーまでを包含し、地域内消費を図り、持続可能な循環型経済の確立を推進するため、地産地消推進条例を制定すべきでは。

【答弁】 条例の制定は、市、生産者、事業者、市民の役割を明確にし、地産地消の拡大につながる有効な手段の一つと考え、制定に向け検討していく。

【質問】 政治家にとって

公約を守ることは当然であり重要だ。市長は就任2年目を迎えたばかりだが、現時点における公約の実現状況は。

【答弁】 防災拠点構想の見直し、副市長一人制、未就学児のインフルエンザ予防接種無料化、中学生までの医療費助成拡大等を実現した。新年度は、保育料の第3子以降無料化、総合運動公園整備構想策定等に着手する。

【質問】 県立久慈病院は県北沿岸唯一の中核的総合病院、救命救急セン



早急な医師確保が望まれる県立久慈病院

ターとして住民の期待を担ってきた。しかし、平

成18年4月以降、麻酔科、耳鼻咽喉科、精神科、呼吸器科の常勤医師が不在となり、産婦人科も一人体制である。早急に打開策を講じるべきでは。

【答弁】 新年度からは、

医師確保対策監を設置し、県や久慈病院等と連携しながら医師確保に努める。

TPP交渉への認識は

【質問】 TPP交渉で政府は、米、牛肉、豚肉等の重要5品目について、国会決議、与党自民党の公約にも反し譲歩を重ねている。もし、TPP協定への参加となれば、地方は壊滅的打撃を受けるが、その認識は。

【答弁】 国会決議を踏まえ、交渉からの撤退も含め、断固たる姿勢で臨むべきと考える。今後も、全国市長会等を通じて国に強く要請していく。

一般質問

各会派の関連質問

新 政 会 政 和 会



新 政 会
上山 昭彦 議員

今後の津波避難訓練の在り方は

【質問】津波注意報や警報の際、避難指示を出すような状況では、避難所の開設を行う等の対応及び早朝の訓練以外に、いつ起こるか分からない自然災害に備え、様々な時間帯の訓練はできないものか。
【答弁】これまでの教訓をもとに、注意報での避難所の開設と避難訓練の時間帯について検討し、避難訓練参加者の増加を考えている。



新 政 会
澤里 富雄 議員

人口減少対策へ様々な施策を

【質問】結婚支援や第三子以降の保育料無料化等があるが、少子化対策として、さらにきめ細かな子育て支援、住宅支援等及び生涯スポーツの充実に努めるべきでは。
【答弁】介護問題や産業振興も進める中で、子育て対策、結婚対策等を含めて大胆に取り組み、健康で長生きできる環境づくりや、生き生きと暮らせる街づくりに努める。



政 和 会
砂川 利男 議員

畜産物に係る放射能の現状は

【質問】県南部は放射能の濃度が高いが、県北部は基準以下である。しかし、一律に肉牛でも乳牛でも生体移動は県内に限られている。従来どおりの生産活動ができるよう県に対し指定の解除を求めるべきでは。
【答弁】JAと連携をとりながら、関係機関のほうに働きかけていきたい。



政 和 会
濱欠 明宏 議員

名誉市民アレン先生の顕彰を

【質問】名誉市民三船十段の顕彰と同様に、名誉市民タマシン・アレン先生の記念館を建設すべきでは。
【答弁】現存するアレン宣教師館をきちんと保存する考えはある。当市の偉人の顕彰については、三船十段記念館があるが、資料の展示については、記念館のスペースを活用し、三船十段とともにアレン先生の顕彰に努めたい。



新 政 会
木ノ下祐治 議員

太陽光・風力発電を市の直営で

【質問】太陽光や風力発電を市が事業化して電力を販売し、電気的地産地消を進め、自治体でお金を作り、行政の財政を潤すための施策を考えるべきでは。
【答弁】高額の事業費と技術的ノウハウ・維持管理費が必要になることから困難である。第三セクターも考えられるが、現時点では民間の事業で取り組むべきと考える。



新 政 会
中平 浩志 議員

県立久慈病院へ医師の確保を

【質問】二戸地域に比べ交通の便が悪い久慈地域の医師確保は、命にかかわる問題であることから、県に対して強く要望すべきでは。
【答弁】両地域を比較した場合、久慈地域が圧倒的に交通の便が悪いことから、機会あるごとに医大等に話をするともに、県と連携を図りながら、久慈地域の医師確保に一生涯努力する。



政 和 会
小倉 建一 議員

道の駅、運動公園等を一カ所に

【質問】地方創生事業の一環として、大型道の駅、総合運動公園、県営大規模施設などを一カ所に集約した整備構想をまとめ、早急に整備を進めるべきと思うが。
【答弁】三陸復興道路の完成により、地域状況が一変する。これを見据え、集客力や利便性を生かし、大型道の駅、総合運動公園、県営大規模施設等を形にしていきたい。



一般質問

各会派の関連質問

～市政を問う～

～市政を問う～



創 政 会
桑田 鉄男 議員

誘客に向けトップセールスを

【質問】体験型教育旅行や外国人観光客の誘客に向けてのトップセールスが有効と考えるが。
【答弁】教育旅行に関しては、昨年度も旅行代理店などに直接伺ってお願いをしている。トップセールスは大事なことであり、市の経済がしっかりと回るよう、今後も先頭に立って誘客に務めたい。



清 風 会
畑中 勇吉 議員

被災世帯の生活再建状況は

【質問】東日本大震災での、当市における被災者の生活再建の状況と、他市等への移住世帯数は。
【答弁】持家、借家住まいの被災世帯もあり、生活再建の判断基準が難しい部分もあるが、被災した半壊から全壊世帯数314世帯中218世帯、69・4%が生活再建したと捉えている。被災世帯で他市等移住世帯は1世帯である。



清 風 会
堀崎 松男 議員

総合防災公園整備事業について

【質問】久慈川、夏井川に挟まれた地域の住民が、防災公園に避難するためには国道395号から園路に通じる道路が必要と思うが。
【答弁】計画している防災公園の園路の夏井川への取り付け道路部分は、真つすぐ行く国道395号の交差点を狙っており、将来的にはそういった方向も考えなければならぬものと考えている。



日 本 共 産 党 久 慈 市 議 団
城内 仲悦 議員

土地改良区の合併支援策を

【質問】受益者負担の軽減を図るためにも、土地改良区への一定の事務費負担の検討・実現を。
【答弁】土地改良区への支援はしっかりと行いたいと考えているが、一方では財源の問題もあるため、意見交換の場を設けて、協議していきたい。



創 政 会
下館 祥二 議員

平庭高原白樺林の保護策は

【質問】白樺の木の寿命は70〜80年と聞けが、平庭高原の白樺林はその時期にきているものと思われる。保護策は。
【答弁】白樺林の保護策として、林の中を明るく保つことが生育条件であり、定期的な林の中の手入れが必要となることから、管理者である岩手県と連携を図りながら、保護・育成に努めたい。



清 風 会
小柳 正人 議員

第2期中活基本計画の見直しは

【質問】昨年9月の国に対する補助金申請は見送ったが、来年度に向けた国への補助金申請に合うように計画されているのか。
【答弁】今年の秋の申請に向けて、短期間ではあるが、精力的にワークショップなど、市民の意見をいただく機会の回数を増やし、計画づくりを進めていく。



清 風 会
宮澤 憲司 議員

道路上の危険箇所の解消について

【質問】市道の支障木について、暴風・雪害等により支障木が原因で事故等があった場合の責任は。
【答弁】道路上に倒木がある場合、道路管理上、それを避ける等の管理行為は必要であり、事故が起きれば道路管理者としての責任も生じると考えているが、危険木の状態時点では、所有者の意思に反し勝手に除去することはできない。



意見書

議員発議による1件の意見書を可決し、内閣総理大臣ほか政府関係機関などへ提出しました。

◆被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

概要 東日本大震災から4年が経過したが、いまだに多くの被災者が応急仮設住宅などでの不自由な暮らしを余儀なくされている。

現行の被災者生活再建支援法では、全壊家屋の再建資金として最大300万円が支給されるが、住宅の再建や確保

に対し十分な額とはいえない。

被災者の生活再建の推進や被災支援の充実を図るため、支援金を500万円に引き上げることで、半壊など支援金の支給対象を拡大し、支給要件を緩和すること、国の負担割合を引き上げること、総合的な支援策を被災者の実情に合わせて拡充することを国に対し強く要望する。

わたしのひとこと

議会を傍聴して

横浜市（長内町在住） 中村民雄さん

東京オリンピックの年、ふるさと久慈市を離れて神奈川県に就職した。そして今、母の介護のために久慈市に戻ってきたが、大変変わっているのに驚いている。

たまたま市役所に行ったら、議会が開かれているとのことで傍聴してみた。

一般質問、常任委員会、予算特別委員会、そして最終本会議と傍聴したが、傍聴者が少ないなと思った。

家の近くを通る三陸沿岸道路の工法見直しを求める請願は、普通の人々がこのようにお願いするものなのだと思います。

遠藤市長の「私一人で決めるのではなく、皆さんで考えて決めよう」とのひと言が心に響いた。

ぜひ、皆さんも傍聴に参加してみてもどうでしょうか。

このコーナーでは、皆さまからの市や議会へのご意見などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当市議会事務局までお申し出ください。

議会日誌

2月

- 1日 くじ市議会だより第38号発行
- 4日 会派代表者協議会
議会運営委員会
議員定数に関する調査特別委員会幹事会
- 6日 全国広域連携市議会協議会総会
会派代表者協議会
議員定数に関する調査特別委員会
- 10日 議員定数に関する調査特別委員会
広聴広報特別委員会

3月

- 2日 議員定数に関する調査特別委員会幹事会
議員定数に関する調査特別委員会
- 3日 議員定数に関する調査特別委員会
本会議（一般質問）
- 10日 議員定数に関する調査特別委員会幹事会
本会議（一般質問）
- 11日 各常任委員会
予算特別委員会
会派代表者協議会
- 12日 予算特別委員会
議会運営委員会
本会議
- 13日 議員全員協議会
広聴広報特別委員会
- 16日 東北市議会議長会定期総会
- 17日 議会改革推進会議
- 18日 広聴広報特別委員会
岩手県市議会議長会定期総会
- 21日 広聴広報特別委員会
- 23日 議員定数に関する調査特別委員会幹事会
- 26日 議員定数に関する調査特別委員会
本会議
- 27日 議員定数に関する調査特別委員会
本会議
- 28日 市政調査会調査研究事業
議会改革推進会議
議員定数に関する調査特別委員会幹事会
- 29日 議員定数に関する調査特別委員会幹事会
- 30日 議員定数に関する調査特別委員会
本会議

編集後記

広聴広報特別委員会

委員 小倉 建一

2月27日から3月20日まで開かれた3月定例会では、一般質問、補正予算、条例改正、平成27年度予算審査など活発な審議をし、結果として全ての市長提出議案が可決されました。

議員定数問題では、特別委員会、本会議での喧々譁々の議論があり、最終的に現状維持の24名に決まりました。

議員定数・報酬問題は、市民の関心事でもあり、今後も検証、調査を続行すべきことは当然のことと考えます。

皆様から意見を聴く機会もますます多くなると思われます。今後の議会・議員活動に大いに注目してください。

この3月議会は、議場改修工事のため市庁舎大会議室での開催となりましたが、傍聴の方も多く、議席と近かったこともあってか臨場感があつたように思いました。

4月から通年会期方式が始まっております。日々、緊張感をもって議会・議員活動に取り組まなければ・・・。

